

2025（令和7）年2月6日

# 家庭用製品の安全性についての活動

2025年 2月 6日  
日本石鹼洗剤工業会

## アジェンダ

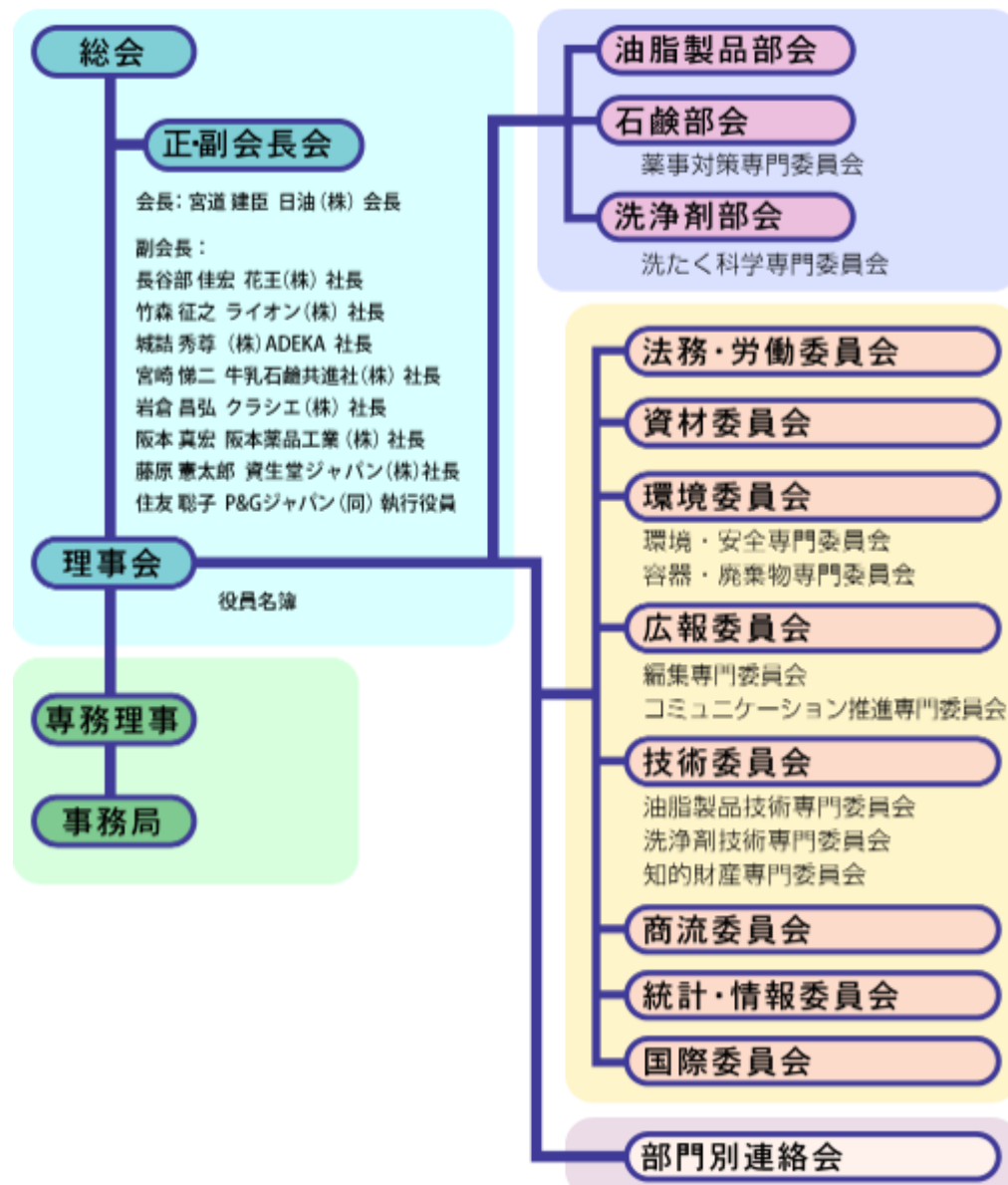
- ・安全性管理の基本方針
- ・安全性に関する業界活動について
- ・情報開示と注意喚起の活動について
- ・事業者における安全性のプロセスについて

日本石鹼洗剤工業会は、生活必需品である石けん、洗剤を中心とする日用品、および産業用原料や日用品の原料となる脂肪酸、グリセリンなどの生活者の身近な製品を取り扱うメーカーを会員とし、業界の健全な発展に寄与するために、共通課題の解決をはかる活動を続けています。

公正、公明な自由競争を基本とし、共通課題の解決をはかるとともに、活力と創造性に富んだ業界活動を推進することを前提にして、以下の基本活動方針を設定しています。

- 1) 生活者へ安全・安心な製品、および原料の提供を行う
- 2) 循環型社会の形成に向けた業界の取り組みを推進する
- 3) 広報・教育活動を強化充実し、業界製品の正しい知識の啓発・普及活動を推進する
- 4) 行政機関、国内団体、さらに海外の関連団体との協力関係を発展させ、化学物質管理などの諸問題や消費者の問い合わせに対応する

- 創立 1950年9月
- 会員 正会員21社 賛助会員45社・団体



2023年実績

	市場	JSDA会員シェア
衣料用洗剤	3220億円	> 94.7%
柔軟仕上剤	1187億円	> 98.5%
台所用洗剤	834億円	> 94.6%
浴室用洗剤	441億円	> 88.8%
トイレ用洗剤	165億円	> 82.1%

出典：国際商業 July 2024

# 安全性評価の基本方針

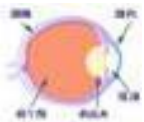


## ヒト健康

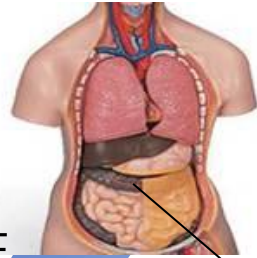
### 全身

遺伝毒性、急性毒性  
反復投与毒性、生殖毒性  
発がん性

### 局所（皮膚・粘膜）



刺激性、感作性



## 環境



水生生物毒性  
分解性、蓄積性

# 家庭用製品のヒト健康への影響と安全性評価

## 物質が持つ毒性の区分

\*1: LD50 値 = 試験動物の体重 1kg 当たりの半数致死量

\*2: Hodge らによる分類 (1949)

毒性の程度	超毒性	強毒性	中程度毒性	軽度毒性	實際上無毒	實際上無害
LD <sub>50</sub> 値 *1	1mg以下	1~50mg	50~500mg	0.5~5g	5~15g	15g以上

} \*2

### 物質例

テトロドトキシン (フグ毒)	青酸カリ ニコチン	アスピリン カフェイン	ピレトリン 塩化マグネシウム	ビタミンC 粉末洗剤	砂糖 スキンケア
ボツリヌス毒素 (食中毒毒素)	パラチオン		ふくらし粉 食塩	台所用洗剤 固形化粧石けん シャンプー	乳液 化粧水

## 安全性試験の評価項目

- 通常使用時
- 誤飲・誤使用時

### 皮膚への影響

- ・皮膚刺激性
- ・皮膚感作性  
(アレルギー性)



### 身体への影響

- ・発がん性
- ・体内動態 (体からの排泄)
- ・全身への毒性 (慢性毒性)

### 胎児への影響

- ・出生率低下 (生殖への影響)
- ・奇形 (胎児への影響)

製品の使用方法も考慮し、  
様々な項目の影響を評価

### 眼への影響

- ・眼刺激性



眼には  
いった



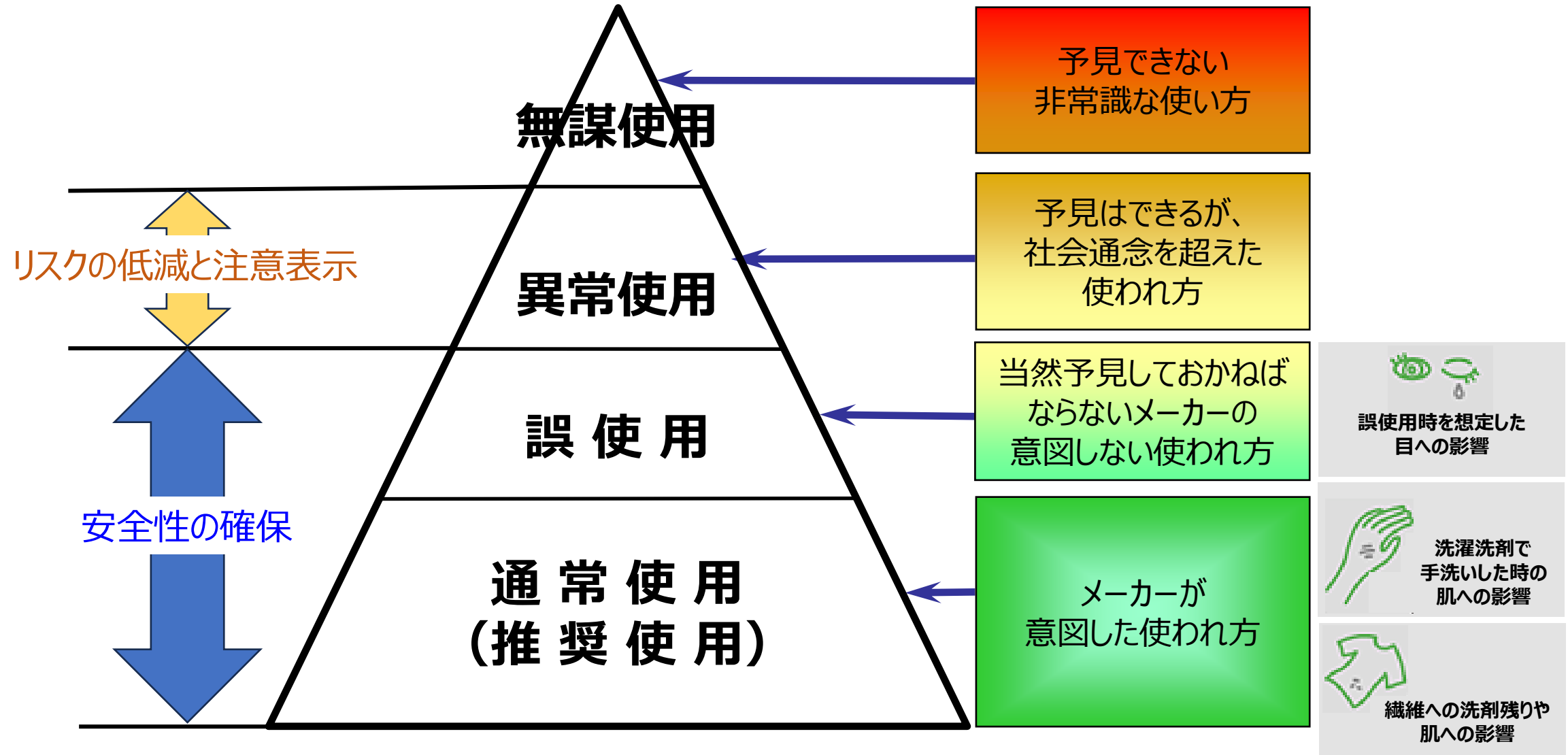
飲んで  
しまった

### 誤飲時の影響

- ・急性毒性

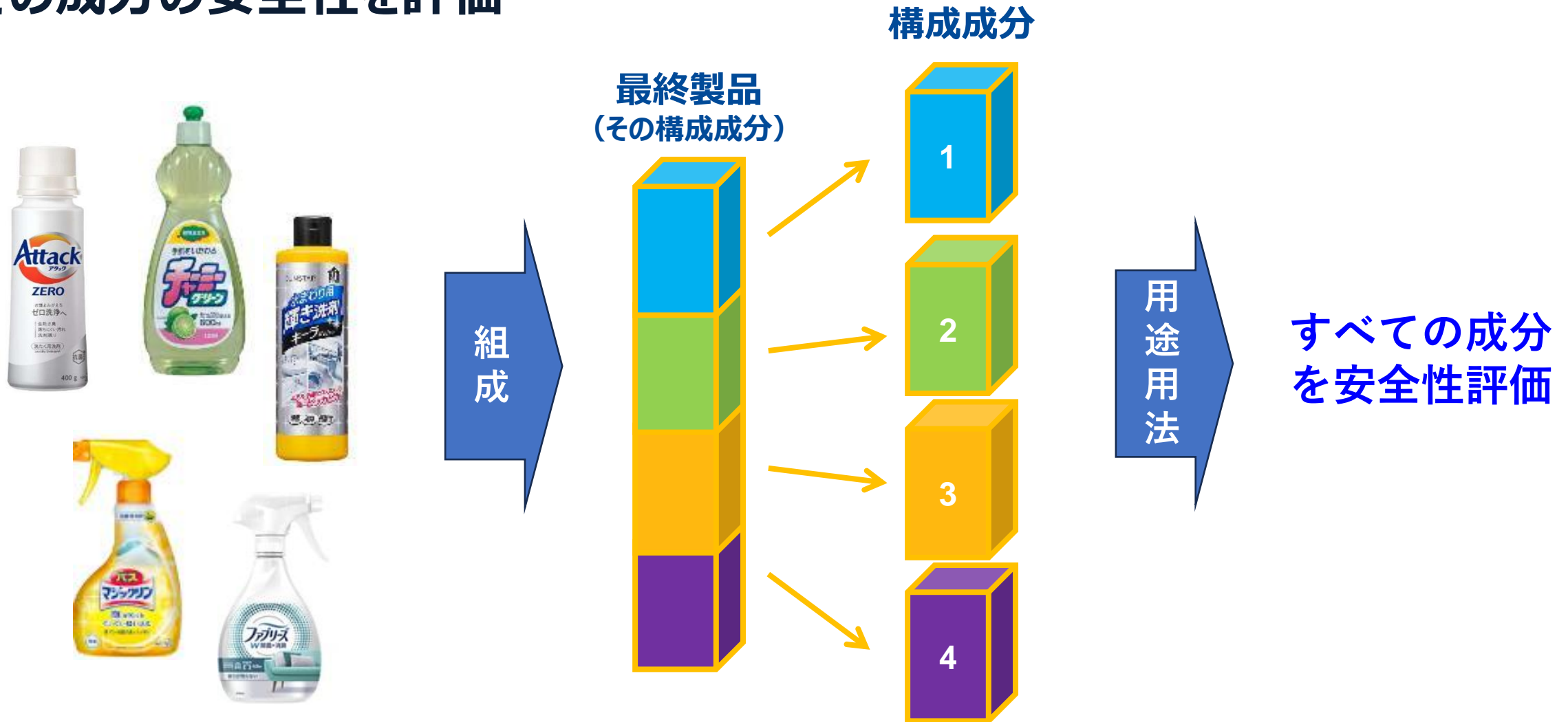
## 安全性評価

- ・ ヒトへのばく露を少なくする製品の  
使い方を提案
- ・ 製品使用で想定されるヒトばく露  
量に基づき、  
成分毎の安全性評価を実施し、  
有効かつ安全な処方に設計

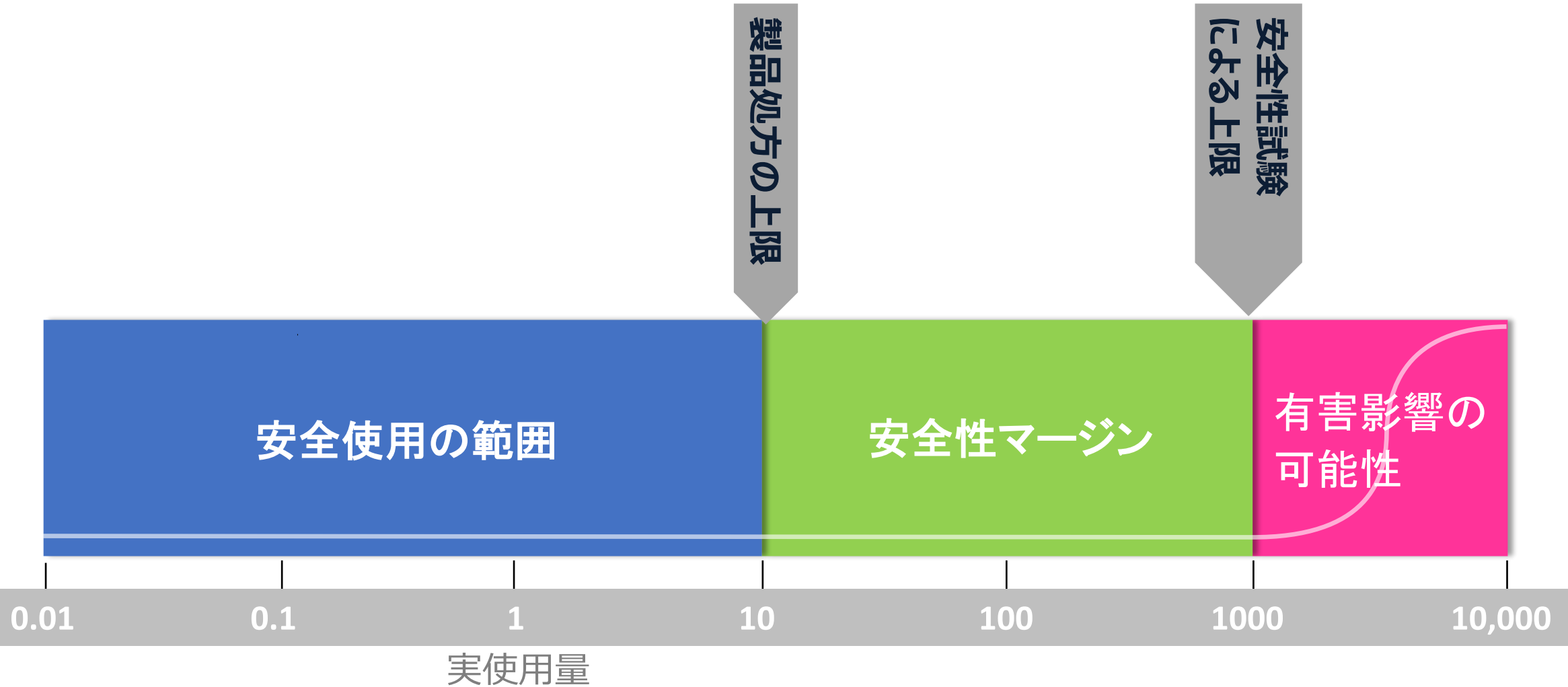




製品の用途用法に応じて、  
すべての成分の安全性を評価

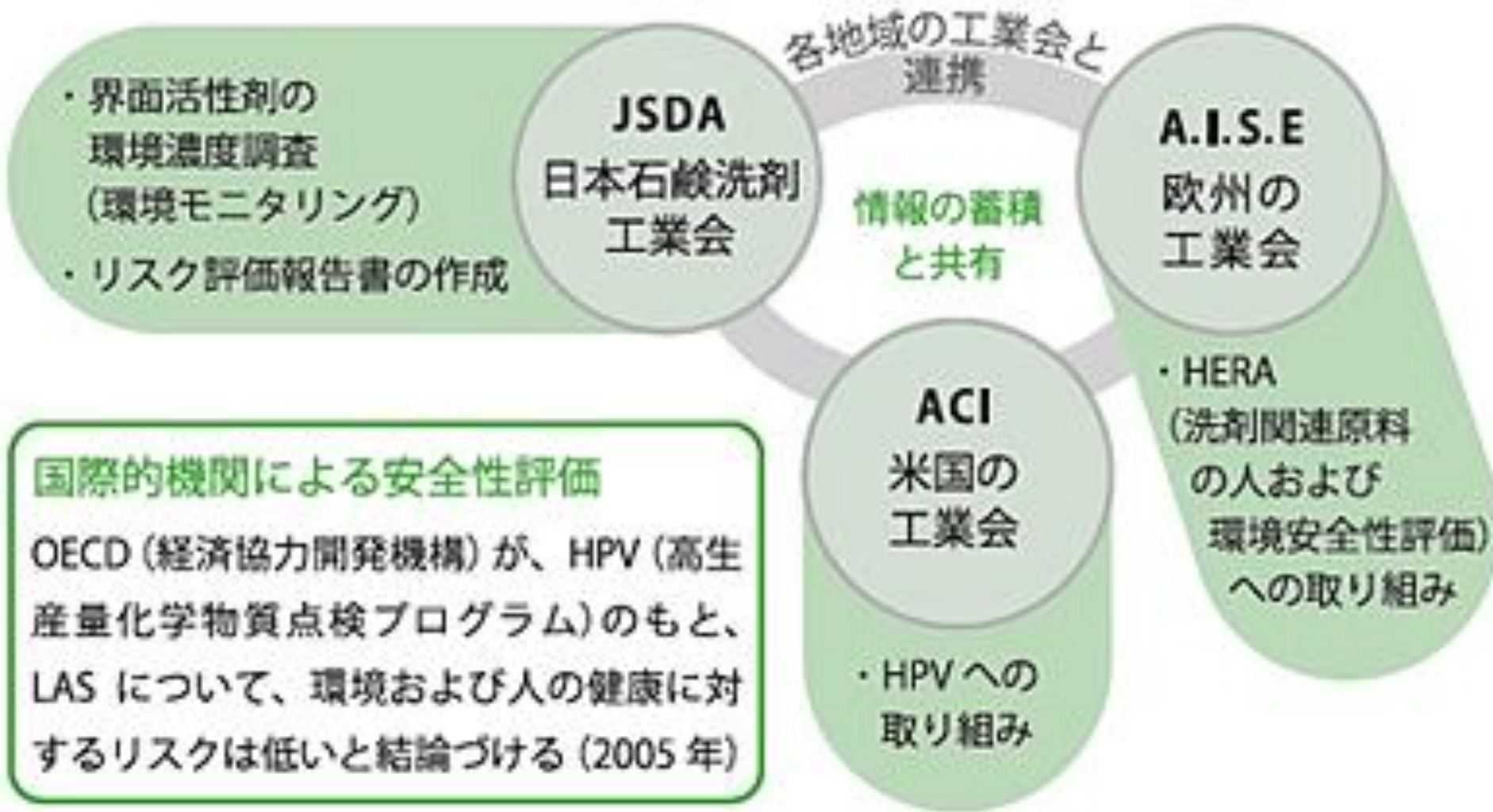


# 安全範囲の定義 ～各国評価機関等における位置づけ～



*\*Health Canada, FDA, EU, WHO, etc.*

# 安全性に関する業界活動について



- ・当工業会は、化学物質の管理と安全性評価に関する国際的なプロジェクトにも積極的に参画
- ・地域や国を超えた協調の動きは、1992年の地球環境サミットをきっかけに加速
- ・海外の工業会と協力して、国際的に信頼のおけるデータの蓄積と共有化をすすめているため、最新の安全性情報なども国内へフィードバックし、各種のリスク評価に役立っている

・洗剤の安全性・環境適合性

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/anzensei.html](https://jsda.org/w/02_anzen/anzensei.html)

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/tekigousei00.html](https://jsda.org/w/02_anzen/tekigousei00.html)

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/pdf/anzentekigou6p.pdf](https://jsda.org/w/02_anzen/pdf/anzentekigou6p.pdf)

・界面活性剤のヒト健康影響および環境影響に関するリスク評価

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/3kankyo\\_9.htm](https://jsda.org/w/02_anzen/3kankyo_9.htm)

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/pdf/200110kaimen\\_riskassessment.pdf](https://jsda.org/w/02_anzen/pdf/200110kaimen_riskassessment.pdf)

[https://jsda.org/w/00\\_jsda/9books\\_a.html](https://jsda.org/w/00_jsda/9books_a.html) (専門資料)

界面活性剤の生態リスク評価

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/3kankyo\\_10.htm](https://jsda.org/w/02_anzen/3kankyo_10.htm)

PRTR法指定化学物質である代表的界面活性剤の人の健康および環境影響に関するリスク評価について－解説書－

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/pdf/PRTR-2004062.pdf](https://jsda.org/w/02_anzen/pdf/PRTR-2004062.pdf)

アミノキシドのヒト健康影響と環境影響に関するリスク評価

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/3kankyo\\_14.htm](https://jsda.org/w/02_anzen/3kankyo_14.htm)

エステル4級塩のヒト健康影響と環境影響に関するリスク評価

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/ESTERqua\\_risk.html](https://jsda.org/w/02_anzen/ESTERqua_risk.html)



・洗剤の安全性と環境への影響

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/tekigousei00.html](https://jsda.org/w/02_anzen/tekigousei00.html)

人への安全性を確保するために

[https://jsda.org/w/01\\_katud/a\\_seminar02.html#02](https://jsda.org/w/01_katud/a_seminar02.html#02)

・洗剤や化粧品成分の安全性 —国際的に進む点検の状況とリスクコミュニケーション—

[https://jsda.org/w/01\\_katud/a\\_seminar05.html](https://jsda.org/w/01_katud/a_seminar05.html)

・消費者製品の配合成分に関するばく露及び初期リスク評価方法（海外評価事例の翻訳版）

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/SDArisk\\_0612.html](https://jsda.org/w/02_anzen/SDArisk_0612.html)

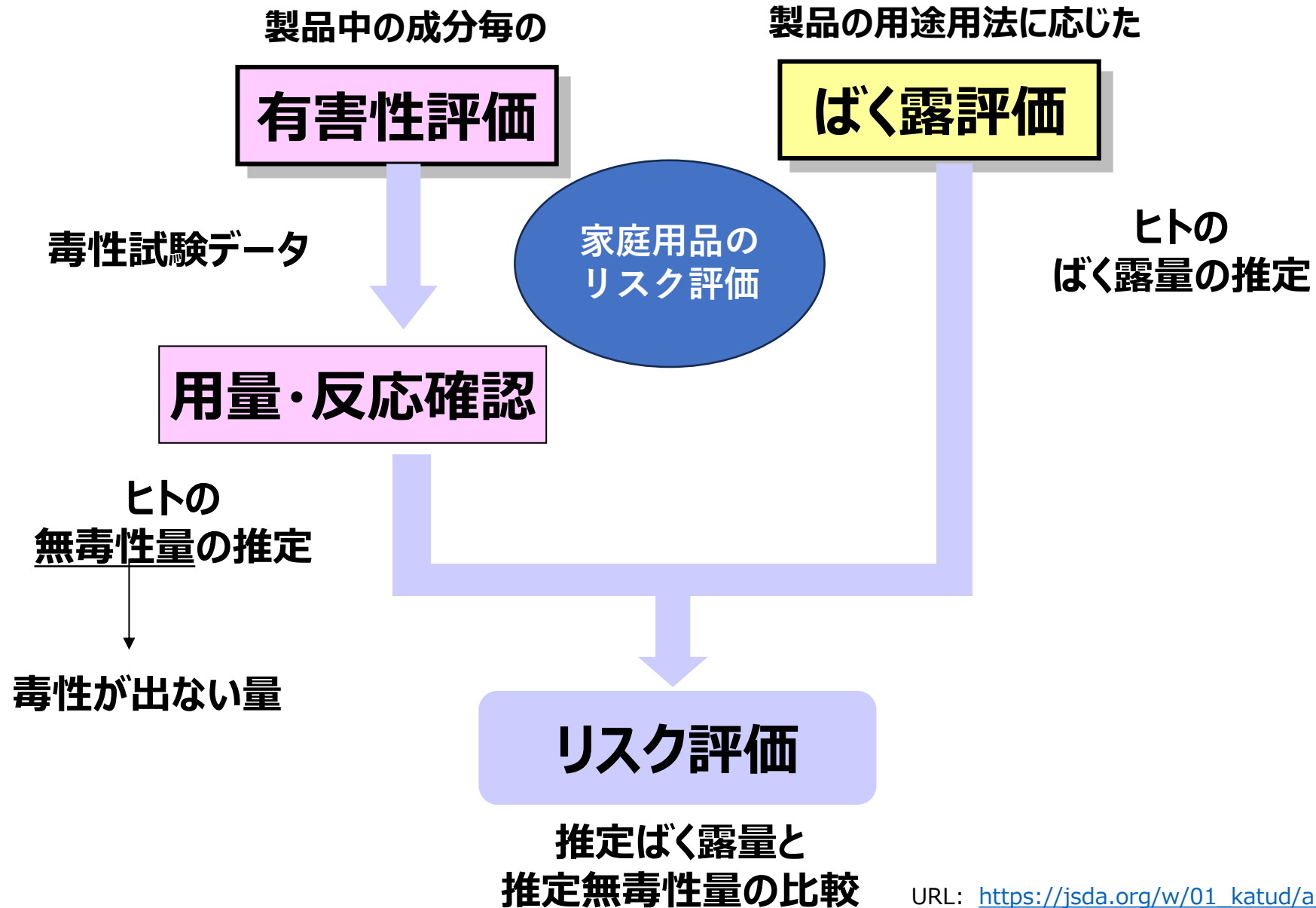
[https://jsda.org/w/02\\_anzen/sda/sda\\_risk\\_zennbunn\\_20061227.pdf](https://jsda.org/w/02_anzen/sda/sda_risk_zennbunn_20061227.pdf)

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/sda/sda\\_risk\\_fuzoku\\_20061227.pdf](https://jsda.org/w/02_anzen/sda/sda_risk_fuzoku_20061227.pdf)

[https://www.cleaninginstitute.org/sites/default/files/research-pdfs/Consumer\\_Product\\_Ingredient\\_Safety\\_v2.0.pdf](https://www.cleaninginstitute.org/sites/default/files/research-pdfs/Consumer_Product_Ingredient_Safety_v2.0.pdf)

[https://www.cleaninginstitute.org/sites/default/files/research-pdfs/SDA\\_HP\\_V\\_Progress\\_Report-June\\_08.pdf](https://www.cleaninginstitute.org/sites/default/files/research-pdfs/SDA_HP_V_Progress_Report-June_08.pdf)

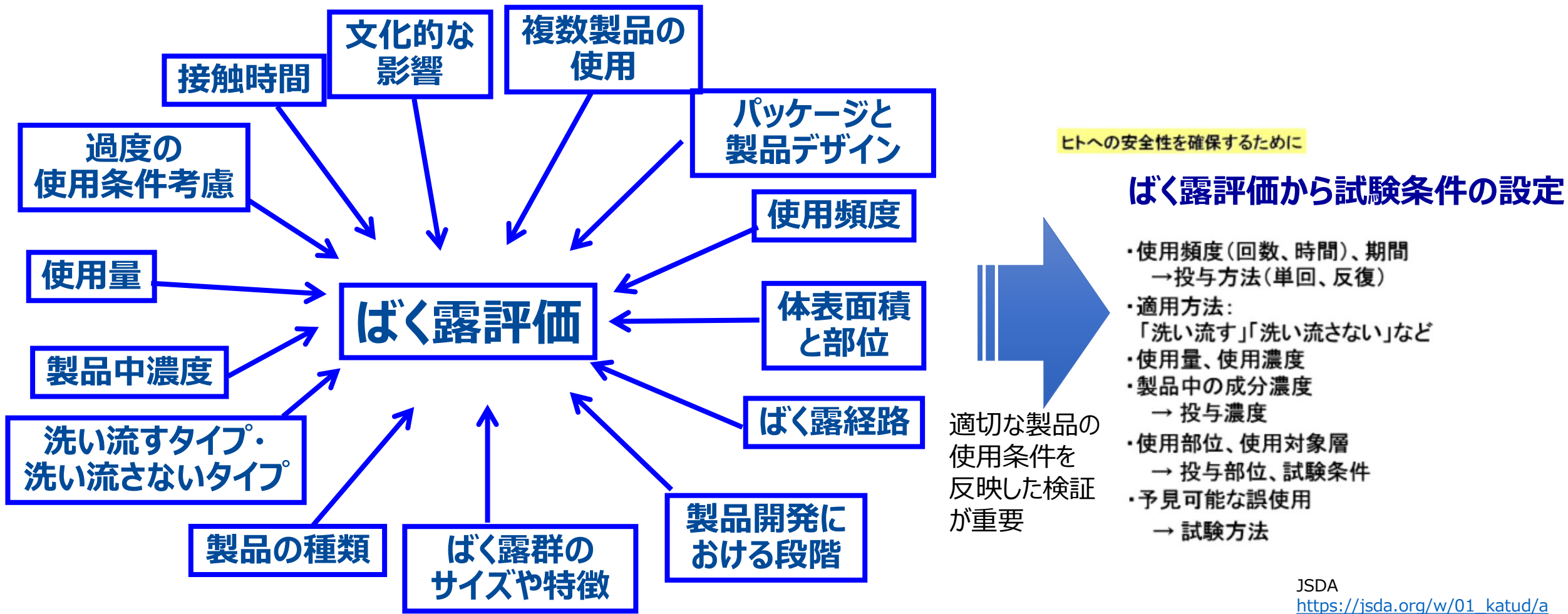
<https://www.heraproject.com/Index.cfm> [Guidancedocument.pdf \(heraproject.com\)](#)



# 製品カテゴリーと評価シナリオ

	洗濯用洗剤 柔軟仕上げ剤	台所用洗剤	住居用洗剤
ばく露シナリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用時の経皮ばく露 (手洗いにも使用するもの 手洗い濃度)</li> <li>衣類に残留した成分からの経皮ばく露</li> <li>吸入ばく露</li> <li>飲料水からの経口ばく露 (環境モニタリングデータを使用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用時の経皮ばく露</li> <li>食材等に残留成分による経口ばく露</li> <li>吸入ばく露 (容器の形態及びスプレー粒径)</li> <li>飲料水からの経口ばく露 (環境モニタリングデータを使用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用時の経皮ばく露</li> <li>表面に残留成分からの経皮ばく露 (すすぎ不要の場合)</li> <li>吸入ばく露 (容器の形態、スプレー粒径)</li> <li>飲料水からの経口ばく露 (環境モニタリングデータを使用)</li> </ul>
	複合ばく露 (様々なタイプの商品に配合されている物質)		
誤使用	製品形態に応じて 想定シナリオを選択	製品形態に応じて 想定シナリオを選択	製品形態に応じて 想定シナリオを選択
通常使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性毒性</li> <li>刺激性および腐食性</li> <li>感作性</li> <li>反復投与毒性</li> <li>生殖発生毒性</li> <li>遺伝毒性</li> <li>発がん性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性毒性</li> <li>刺激性および腐食性</li> <li>感作性</li> <li>反復投与毒性</li> <li>生殖発生毒性</li> <li>遺伝毒性</li> <li>発がん性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性毒性</li> <li>刺激性および腐食性</li> <li>感作性</li> <li>反復投与毒性</li> <li>生殖発生毒性</li> <li>遺伝毒性</li> <li>発がん性</li> </ul>

## 製品の安全性を確認するための評価



ばく露評価の必須要素である製品の含有成分、使用条件、推定ばく露シナリオについて  
業界が多くの情報を保有

## ばく露評価

### 洗い流すタイプ

### 製品開発における段階

### 経皮ばく露

### ばく露経路

食器用洗剤、シャンプー、ボディソープの使用により1日あたりのばく露量を計算

### 複数製品の使用

配合濃度：台所用洗剤で7%、シャンプーおよびボディソープで3%

### 製品中濃度

食器用洗剤：1日3回（1回45分）

### 使用頻度

### 接触時間

、手および腕の表面積は 1980 cm<sup>2</sup>

### 体表面積と部位

シャンプーおよびボディソープ：1日1回（1回10分）、シャンプーで1,440 cm<sup>2</sup>、ボディソープで15,100 cm<sup>2</sup>

体重：50kg

### ばく露群のサイズ

### 経口ばく露

### ばく露経路

### 文化的な影響

台所用洗剤で洗浄した食器への残留

洗浄した野菜、果物への残留

飲料水経由（2L/日）

## ばく露量の合計推定量

経皮および経口からの推定ばく露量（EHE）を計算

合計推定ばく露量（EHE） = 15.41μg/kg/日

AO：アミノキシド


[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/jsda\\_AO\\_20100531.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/jsda_AO_20100531.pdf)



# 食器用洗剤での事例

## パッケージと製品デザイン

・誤使用および異常使用の回避  
製品安全表示図記号

の 飲み物ではありません 




- ・誤使用、異常使用の抑制
- ・過剰なばく露の抑制
- ・誤使用、異常使用時の対応（応急処置）

●水にうすめた場合や、低温になると白く濁ることがありますが、品質には問題ありません。

**使用上の注意** ●用途外に使わない。●電気ポットのクエン酸洗浄には使えない。●子供の手の届く所に置かない。●認知症の方などの誤飲に注意する。●うすめた液を長時間置くと変質することがあるので、使用のつどうすめて使う。●使用後は手をよく水で洗う。●荒れ性の方や長時間使用する場合、また原液をスポンジに含ませて使用する時は炊事用手袋を使う。●流水の場合、食器及び調理用具は5秒以上、ため水の場合は水をかえて2回以上すすぐ。

**応急処置** ●目に入った時は、こすらずただちに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医に受診する。●飲み込んだ時は、吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。異常が残る場合は医師に相談する。

**開け方**  ツマミを上げる

## 有害性評価

- 急性毒性**: ラットおよびマウスにおいて、経口、皮下、腹腔内投与で限度内で許容される範囲
- 刺激性と腐食性**: 皮膚や眼に対して、低濃度では認められていない
- 感作性**: モルモットを用いた試験で感作性は認められなかった。
- 反復投与毒性**: ラットによる104週間の試験での無毒性量（NOAEL）を確認
- 生殖発生毒性**: 高用量で体重減少が観察されるが、生殖能に影響は認められなかった
- 遺伝毒性**: 試験結果は陰性であり、遺伝毒性の可能性は低い
- 発がん性**: ラットとマウスを用いた試験で発がん性の証拠は見られなかった

## ばく露評価

- 経皮ばく露**: 食器用洗剤、シャンプー、ボディソープの使用により1日あたりのばく露量を計算
- 経口ばく露**: 洗浄後の残留物や飲料水を介した微量のばく露を計算
- ばく露量の合計推算量**: 経皮および経口からの推定ばく露量（EHE）を合計

## リスク評価

- ヒト健康リスクは、毒性量（NOAEL）をばく露量（EHE）で除算して安全マージン（MOE）を計算し評価
- MOE値は、不確実性係数積を上回り、リスクは低いと判断

AO：アミノキシド

[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/jsda\\_AO\\_20100531.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/jsda_AO_20100531.pdf)

ヒト健康に与えるリスクは低いと総合的に判断

## 有害性評価

- 皮膚刺激性：20%貼付試験で軽度の刺激
- 感作性：20%貼付試験で感作性認められず
- 変異原性、遺伝毒性、催奇形性、繁殖性：毒性ポテンシャルも有さない

### 長期使用時

ヒトの耐容摂取量（TDI） 6 mg/kg/日

### 誤使用時

誤飲時の急性毒性：毒性分類 slightly toxic（わずかに毒性あり）  
眼に入った場合の眼刺激：10%以下の低濃度では  
水で十分洗浄し回復が可能

## ばく露評価

洗濯用洗剤、台所用洗剤の使用を想定

### 通常使用時

使用時間は短く、ばく露後洗い流す

### 長期使用時

経皮吸収、経口摂取（台所用洗剤を想定）も加味

ヒト推定最大摂取量：0.00952mg/kg/日

## リスク評価

AE：ポリ（オキシエチレン）アルキルエーテル

[https://jsda.org/w/02\\_anzen/pdf/200110kaimen\\_riskassessment.pdf](https://jsda.org/w/02_anzen/pdf/200110kaimen_riskassessment.pdf)

- ヒトの耐容摂取量（TDI） 6 mg/kg/日 >> 最大摂取量 0.00952mg/kg/日
- 誤使用時においても、毒性影響は軽微

ヒト健康に与えるリスクは極めて低いと判断



## パッケージと製品デザイン



- 誤使用及び異常使用の抑制
- 過剰なばく露の抑制
- 誤使用及び異常使用時の対応  
(応急処置)

**お洗たく前にまず確認**

- 衣料品の取扱表示にしたがって洗たくする。
- 蛍光剤配合。淡色の綿・麻衣料は白っぽくなることもあるので、蛍光剤無配合の洗剤をおすすめします。
- 色落ちが心配な場合、目立たない所に原液をつけ、5分後に白い布に色移りしないか確認。

右の取扱表示のある衣料品には使わない



および「中性洗剤使用」があるもの

**使用上の注意**

- 用途外に使わない。
- 子供の手の届く所に置かない。
- 認知症の方等の誤飲を防ぐため、置き場所に注意する。
- 使用後は手をよく洗う。
- 荒れ性の方や長時間又は原液で使う場合は炊事用手袋を使う。
- 原液が洗たく機のフタ等についた時はすぐに水でふきとる。
- 放置すると傷むことがある。※低温で凍った場合、常温に戻してお使いください。

**応急処置**

- 目に入った時は、こすらずただちに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医を受診する。
- 飲み込んだ時は、吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。異常が残る場合は、医師に相談する。※受診時は商品を持参する。

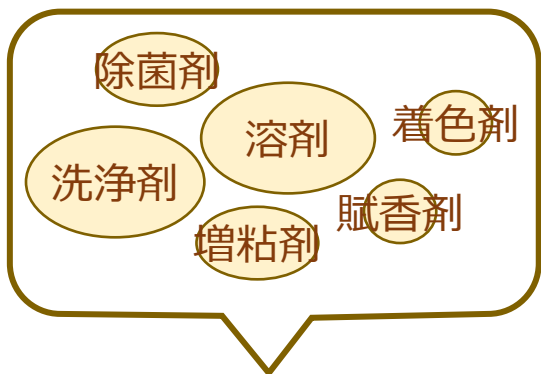
使用量の目安	ドラム式	タテ型
	洗たく物量	水量
	6 kg	65 L
	5 kg	55 L
	4 kg	45 L
	2 kg	30 L

洗たく物量の目安は、

品名	洗濯用合成洗剤	液性	弱アルカリ性
成分	界面活性剤 [19 %]、高級アルコール、酵素、蛍光増白剤		

## 台所用洗剤の皮膚に対する安全性

リスクを最小限にする原料  
と配合量で処方



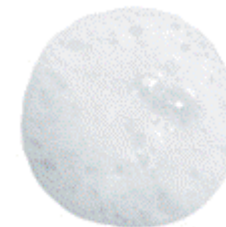
洗浄時にスポンジでこする際に高濃度の洗剤  
成分が直接に肌に接触し、体質によっては肌  
荒れを生じる可能性がある



表示：手袋の使用を推奨



使用方法の変更：泡型のスプレー  
製品にし、こすらず洗浄



使用方法の変更：つけ置き型  
こすらず洗浄

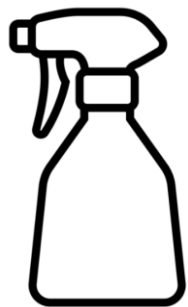
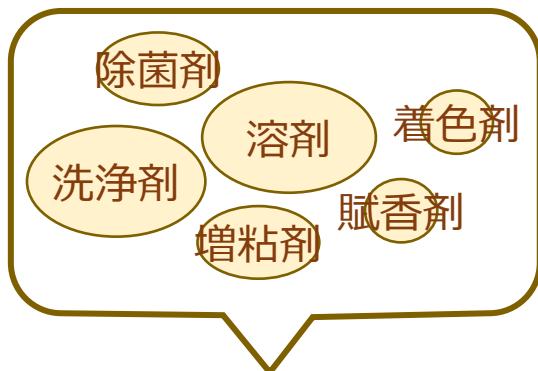


- 構成成分は、国内外の調査報告書や安全性に関する最新のデータをもとにしたリスク評価から、配合量における安全性を確保している
- 表示や使用方法を工夫することで皮膚への影響を低減する



## 浴用洗剤のスプレー製品の吸入に対する安全性

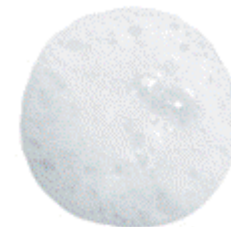
リスクを最小限にする原料  
と配合量で処方



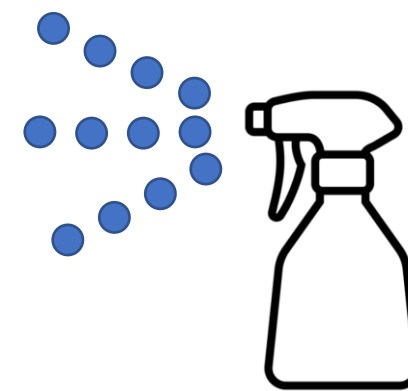
スプレー製品は、使用に伴う小粒径の液滴  
の舞い散りによる吸入リスクを考慮する



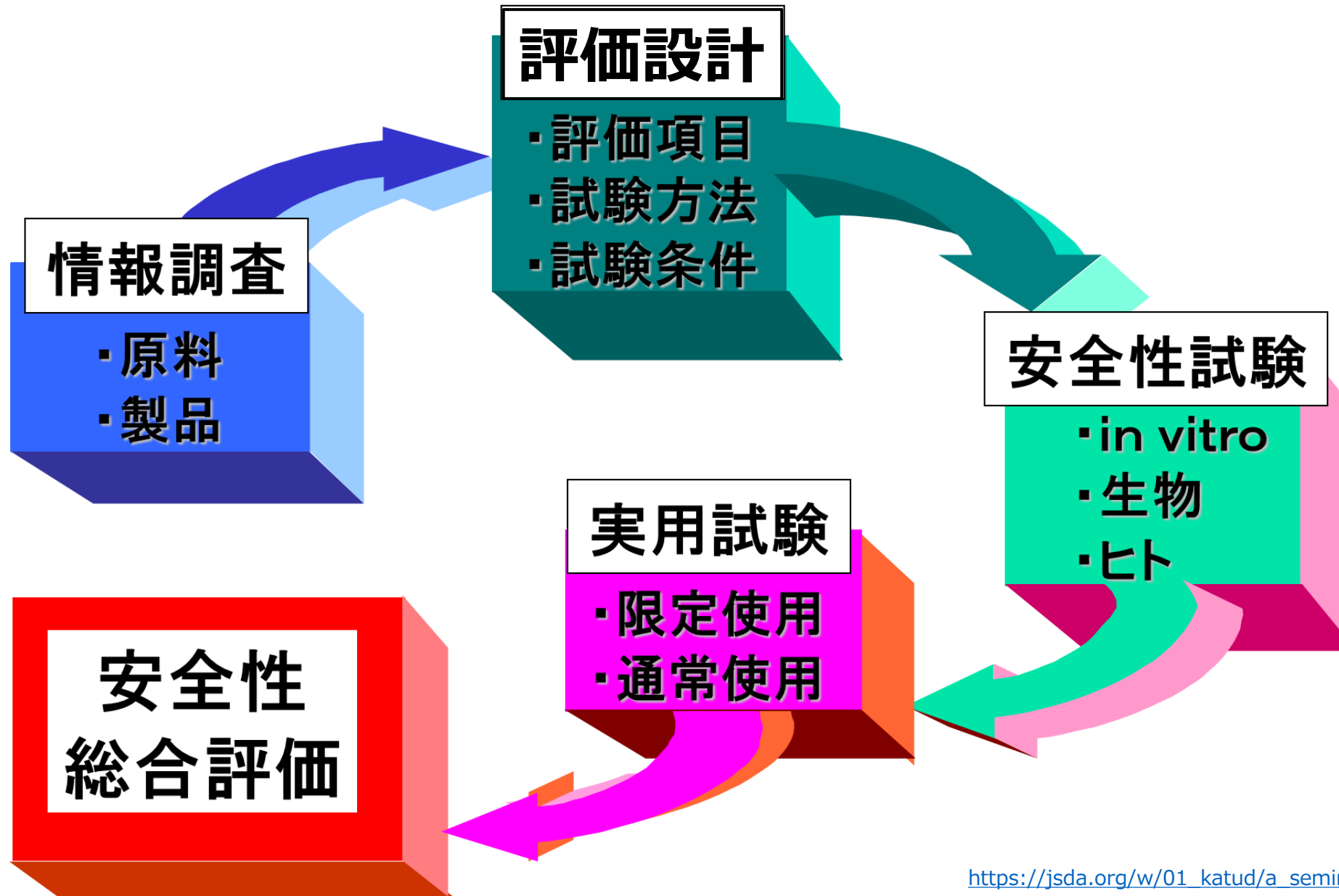
泡剤型



粒径の大きい液滴を生成  
するスプレー容器



- ・粒径を大きくすることで、液を速やかに対象表面に付着させ、舞い散りの原因となる小粒径の液滴の発生を抑えて、吸入による健康リスクを低減する



# 情報開示と注意喚起の活動について

## ・洗剤等の成分情報開示自主基準

[https://jsda.org/w/01\\_katud/seibunhyouji\\_01.html](https://jsda.org/w/01_katud/seibunhyouji_01.html)  
[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/JSDA\\_jishukijun\\_seibunkaiji.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/JSDA_jishukijun_seibunkaiji.pdf)

NITEでの化学物質 4.家庭用品洗剤  
<https://www.nite.go.jp/data/000097447.pdf>

## ・衣料用柔軟仕上げ剤の品質表示自主基準

[https://jsda.org/w/01\\_katud/a\\_sekken25.html](https://jsda.org/w/01_katud/a_sekken25.html)  
[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/JSDA\\_guideline2018\\_junanzai.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/JSDA_guideline2018_junanzai.pdf)

## ・会員社の香料成分の自主的な開示の際の指針

[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/JSDA\\_seibun\\_kaiji\\_20200302.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/JSDA_seibun_kaiji_20200302.pdf)

## ・薬用石けんの表示自主基準

[https://jsda.org/w/01\\_katud/a\\_sekken30.html](https://jsda.org/w/01_katud/a_sekken30.html)

## ・飲食器用洗剤自主基準

[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/JSDA\\_jishukijun\\_senzai201204.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/JSDA_jishukijun_senzai201204.pdf)

## ・洗剤・漂白剤等安全対策協議会の自主基準

[https://jsda.org/w/06\\_clage/4\\_clean/ca195/antaikyoushisyu.pdf](https://jsda.org/w/06_clage/4_clean/ca195/antaikyoushisyu.pdf)

## ・製品安全表示図記号の使用・適用等に関する自主基準

[https://jsda.org/w/01\\_katud/anzenzukigou.html](https://jsda.org/w/01_katud/anzenzukigou.html)  
[https://jsda.org/w/01\\_katud/jsda/JSDA\\_jishukijun\\_anzenzukigou.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/jsda/JSDA_jishukijun_anzenzukigou.pdf)  
[https://jsda.org/w/01\\_katud/antaikyo/JSDA\\_anzenzukigou.pdf](https://jsda.org/w/01_katud/antaikyo/JSDA_anzenzukigou.pdf)

成分情報を  
HP等で提供

安全な取扱い  
方法をラベル  
表示

## 家庭用消費者製品における成分情報開示に関する自主基準 2011年11月より

### ○適用製品

洗たく用洗剤、台所用洗剤、住宅・家具用、その他用洗剤、漂白剤、柔軟仕上げ、洗たく用仕上げ剤、その他（糊剤、その他の仕上げ剤）、酸・アルカリ洗浄剤、クレンザー

### ○開示の主なルール

- ✓ 意図して添加、配合された全ての成分。
- ✓ 成分名称とその成分の機能または配合目的を示す。
- ✓ 1%以上の成分は、含有量の多い順。
- ✓ 営業秘密にかかわる成分は、成分名称の代わりに機能名称等を用いてもよい。但し、家庭用品品質表示法等にて表示義務のある成分名については、必ず法令に従い表示。

#### 家庭用消費者製品における成分情報開示に関する自主基準

2011年5月  
日本石鹼洗剤工業会

#### 1. 目的と意義

日本石鹼洗剤工業会では消費者保護を目的として、当工業会が取り扱う家庭用消費者製品の品質や適切な使用方法に係わる情報をホームページを通じ消費者等に提供してきた。また会員各社は家庭用品品質表示法、不当景品類及び不当表示防止法、食品衛生法、その他関連法規や業界自主基準に基づき、製品の品質や適切な使用方法に関する情報を容器やラベル表示を通じて提供してきた。この度、使用する製品について更に詳しい情報を求める消費者の希望に応えること、海外でも自主的な成分情報開示が進められていること等から、当工業会においても上記家庭用消費者製品の成分情報開示のあり方について検討し、自主基準を制定した。

#### 2. 適用範囲

日本石鹼洗剤工業会が作成した「家庭用製品一覧表」（日本石鹼洗剤工業会ホームページに掲載）中の以下のものを対象とする。

- ・洗たく用洗剤（洗たく用粉末洗剤、洗たく用液体洗剤、洗たく用洗剤（固形その他））
- ・台所用洗剤（手洗い用合成洗剤、食器洗い機用合成洗剤、台所用その他の洗剤）
- ・住宅・家具用、その他用洗剤（住宅・家具用合成洗剤、その他用洗剤）
- ・漂白剤（衣料用、台所用、その他用）
- ・柔軟仕上げ剤（液体・その他）
- ・洗たく用仕上げ剤・その他（糊剤、その他の仕上げ剤）
- ・酸・アルカリ洗浄剤
- ・クレンザー（液体・粉末）

業務用途に供される製品については、この自主基準の限りではない。

#### 3. 成分情報開示の実施要領

##### (1) 実施日

日本石鹼洗剤工業会に加盟している製造者は、2011年11月から、あるいは同月の製造品から、以下の事項に従って、2の適用範囲で規定する家庭用消費者製品を対象に、成分情報を開示する。

但し、委託生産の場合、委託先は委託元と実施についての協議を行うものとする。



# 安全な取扱い方法のラベル表示

## 製品安全表示図記号の使用・適用等に関する自主基準

2018年1月より

大切な注意事項や使用方法に関する情報を、わかりやすく伝える。  
禁止を示す図記号と、指示を表す図記号。

### ○家庭用の石鹼・合成洗剤及び洗浄剤などに適用

- 石鹼・合成洗剤 洗濯用
  - 台所用石鹼、衣料用（洗濯用）合成洗剤、台所用合成洗剤、住宅・家具用合成 洗剤
- 洗浄剤・漂白剤
  - 住宅・家具用洗浄剤（酸・アルカリ洗浄剤）、衣料用・台所用・住宅用漂白剤（酸素系・塩素系漂白剤）
- その他
  - 柔軟仕上げ剤、洗たく用仕上げ剤（洗濯のりなど）、クレンザー

### ○洗浄剤・漂白剤等安全対策協議会の自主基準の対象製品

- 「有害性物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に指定されている成分を含有する家庭用の洗浄剤。
- 「家庭用品品質表示法」に定める次の製品  
酸性洗浄剤・アルカリ洗浄剤及び塩素系洗浄剤 ただし、特別注意事項表示である（「混ぜるな危険」表示）が不要なものを除く  
塩素系漂白剤

◎ 一般の洗剤類について [http://www.jsda.org/w/01\\_katud/anzenzukigou.html](http://www.jsda.org/w/01_katud/anzenzukigou.html)

◎ 酸性や塩素系の洗浄剤・漂白剤について

[http://www.senzozai.jp/0a\\_anzenzukigou.html](http://www.senzozai.jp/0a_anzenzukigou.html)

#### ↓ やってはいけません〔禁止〕



**子供の手が届くところに置かない**

子供は周囲のものをなんでも手に取り、口に入れてしまうことがあります。また、手に取った際に目に入ったり皮膚についたりすると、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。子供の手の届かないところに保管してください。



**目に入れない**

使用方法や取り扱い方により、誤って製品が目に入ってしまうと、重大な事故を引き起こす可能性があります。製品が目に入らないように注意して使用してください。



**飲み物ではない**

飲み物や食べ物と間違えて飲食してしまうと、食道や胃の粘膜炎をつけたり、気管に入って窒息したりする可能性があります。飲み物や食べ物と違う場所に保管するなどの注意が必要です。



**他の容器に移し替えない**

異なる容器に入れたため誤使用を引き起こしたり、容器が腐食したりして事故を引き起こしたり、緊急時に必要な情報がわからないなどの不都合を招くことがあります。指定外の容器に移し替えないでください。



**同時に使用しない**

塩素系の漂白剤・洗浄剤と酸性タイプの洗浄剤が混ざると、有毒な塩素ガスが発生し、とても危険です。これらの製品は同時に使用しないでください。

#### ↓ 必ずこうしてください〔指示〕



**保護手袋を使用する**

使用する場合には、保護手袋で手を保護してください。ゴム製など洗剤類のしみこまない作業用手袋をお勧めします。



**保護手袋・マスクを使用する**

使用する場合には、必ずマスクと保護手袋の両方を着用してください。



**使用後は手を水で洗う**

使用後は、手を水で洗い、洗浄剤等が手に残らないようにしてください。



**目に入った場合は、水で十分に洗い流す**

誤って目に入った場合は、すぐに水で十分に洗い流してください。その後、直ちに医師の診断を受けることをお勧めします。



**必ず換気する**

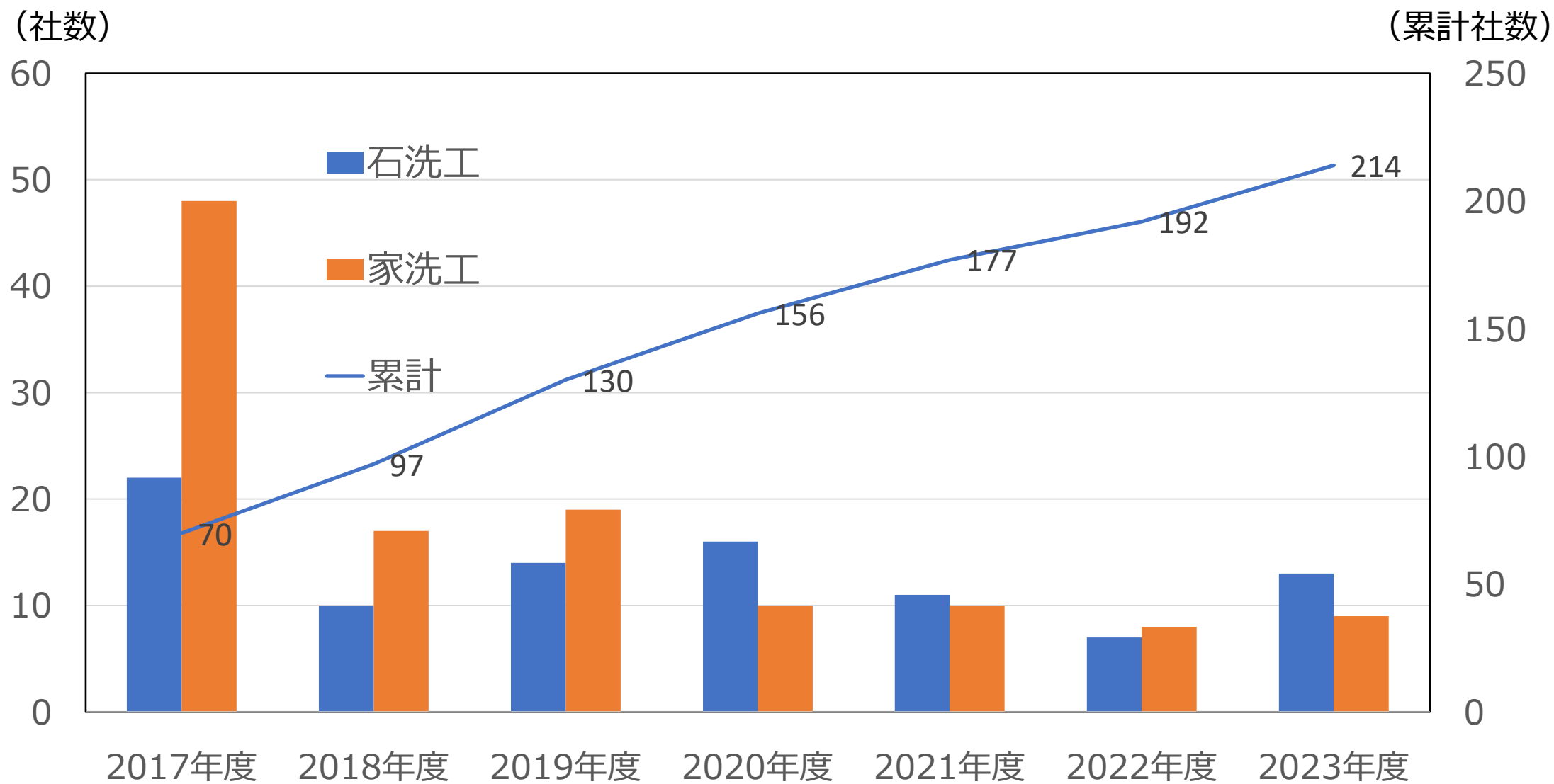
使用中は換気してください。換気しないと気分が悪くなる場合があります。



**専用スプレーを使用する**

スプレー製品の付け替え製品を使用する場合は、必ずその製品専用のハンドスプレー（トリガー）を使用してください。異なる製品のハンドスプレーを使用すると、使用中に製品が飛び散ったり、濡れたりすることがあります。

# 製品安全表示図記号 提供状況



石洗工 (日本石鹼洗剤工業会) : 21社  
 家洗工 (日本家庭用洗淨剤工業会) : 18社

ホームページ掲載の製品情報

<https://www.lion.co.jp/ja/products/462>



製品安全表示図記号



成分情報

機能名称	成分名称
バランス剤	水
金属封鎖剤	エチレンジアミン四酢酸
界面活性剤	ポリオキシエチレンアルキルエーテル
溶剤	ジエチレングリコールモノブチルエーテル
pH調整剤	水酸化ナトリウム
界面活性剤	アルファオレフィンスルホン酸ナトリウム
界面活性剤	純石けん分(脂肪酸カリウム)
香料	香料(詳しくは <a href="#">こちら</a> )
増粘剤	キサンタンガム
着色剤	着色剤

閉じる

香料成分情報

※日本石鹼洗剤工業会の「香料成分の自主的な開示の際の指針」に基づいて成分情報を開示しています。詳しくは [こちら](#)

■ルックプラス バスタブクレンジング クリアシトラスの香り 香料成分

成分名
3-Methoxy-3-methyl-1-butanol



製品安全表示図記号



## 成分情報

成分名称	機能/配合目的
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	界面活性剤
アルキルエーテル硫酸エステル塩	界面活性剤
水	溶剤

## 香料成分情報

※日本石鹼洗剤工業会の「香料成分の自主的な開示の際の指針」に基づいて成分情報を開示しています。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

### アリエール ジェルボール 4D

#### 香料成分名

1-(2,6,6-TRIMETHYL-3-CYCLOHEXEN-1-YL)-2-BUTEN-1-ONE
1,3-DIOXOLANE-2-ACETIC ACID, 2-METHYL-, ETHYL ESTER
2,4-DIMETHYL-3-CYCLOHEXENE CARBOXALDEHYDE
2,6-DIMETHYL-1-OCTEN-2-OL
2,6-DIMETHYL-1-ACETATE, (2,6-DIMETHYL-1-OCTEN-2-OL)



# 事業者における安全性のプロセスについて



## 家庭品の安全基準

### 開発段階

1. 安全な原料を厳選
2. 製品の安全性確認
3. さまざまな使用テストによる確認

### 発売前

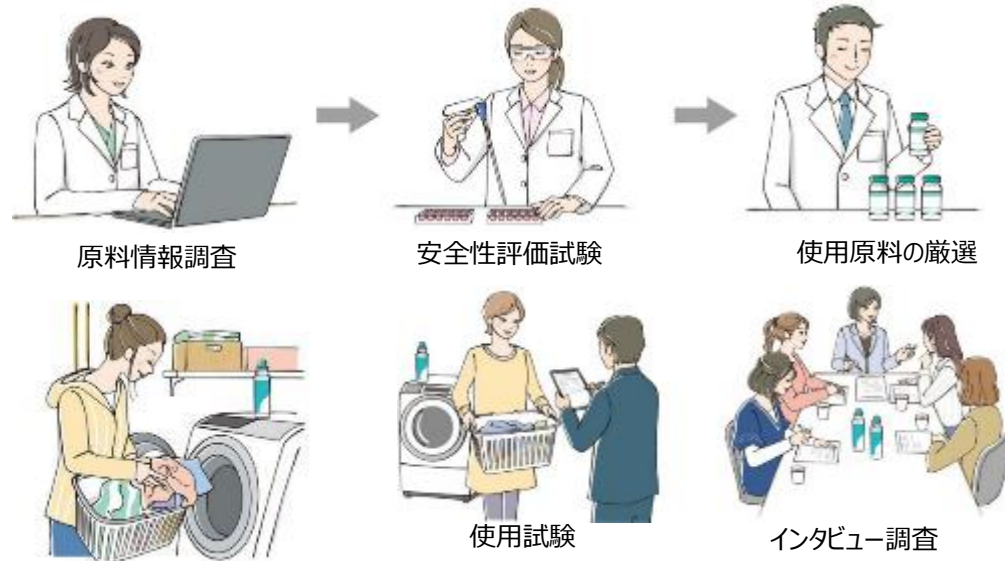
- 安全性情報の確認
- 総合的な確認

十分な安全性が確認できない商品は  
発売いたしません

### 発売後

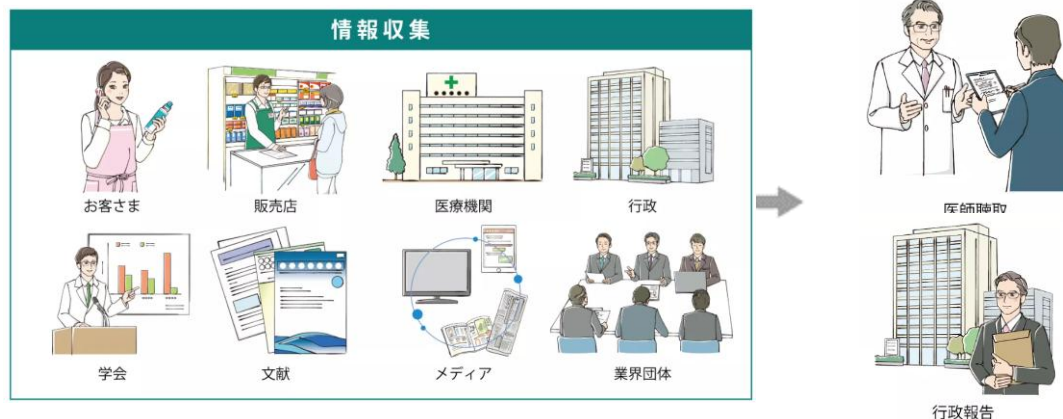
4. お客様とのコミュニケーション
5. 常に安全性を点検

## 有害性アセスメント / ばく露アセスメント リスクアセスメント



### 製品安全基準

## GVP (製造販売後安全基準)

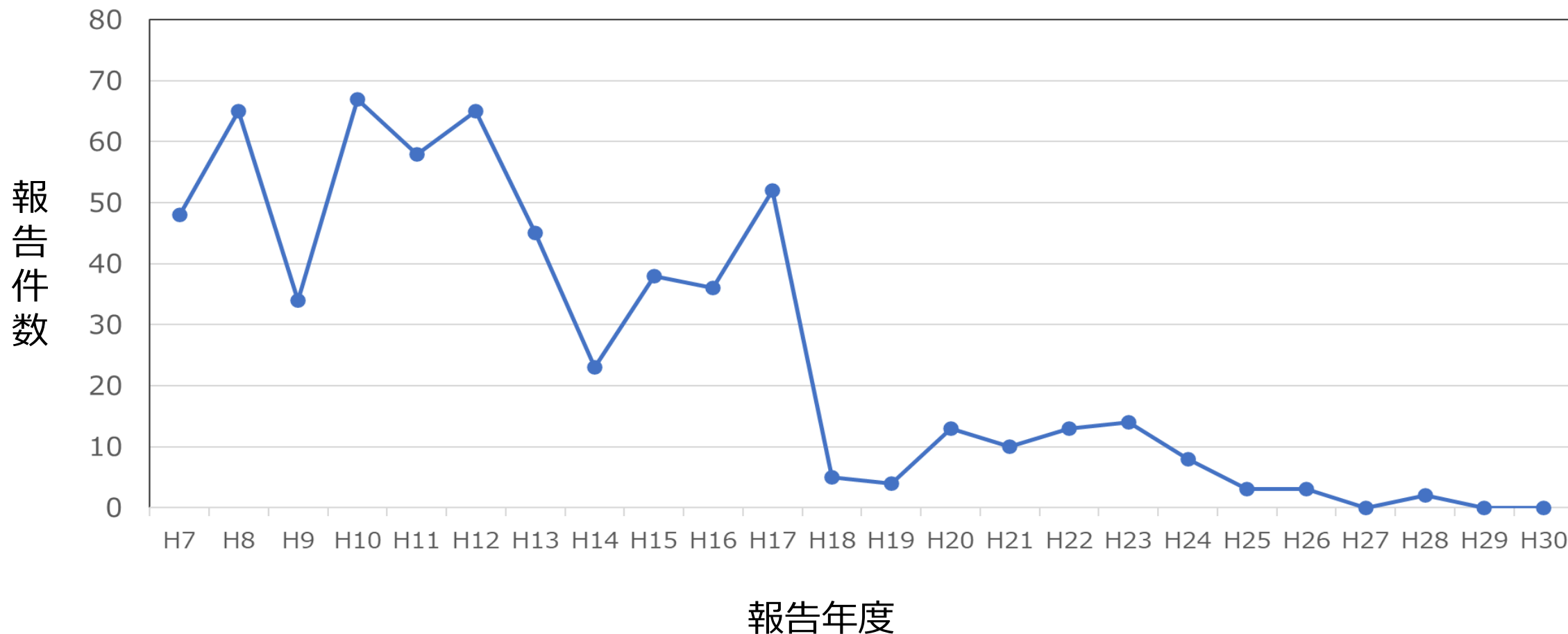


家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告

[https://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/katei/monitor\(new\).html](https://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/katei/monitor(new).html)

平成7年度～平成30年度の報告書から情報を抽出して作成

## 洗剤による皮膚障害の報告件数



家庭用洗剤がいろいろな場面で使われるようになってから、すでに70年以上が経過しています。その間、洗剤が人や環境に悪影響を及ぼすのではないかと、問題視されることもありました。これに対して、メーカーのほか、国の機関や地方自治体なども繰り返し調査を行ない、問題のないことが確認されています。

その後も日本石鹼洗剤工業会では、安全性の確認に必要な科学的データの蓄積に注力してきました。

それらのデータを用いて、界面活性剤など主要成分のリスク評価を実施し、ヒトへの影響や、環境に与える影響を継続的に調べています。

また、洗濯用、台所用、住宅用などの種類に応じて、各メーカーが実用テストなどで安全に使えることを最終確認したうえで、製品が市販されています。